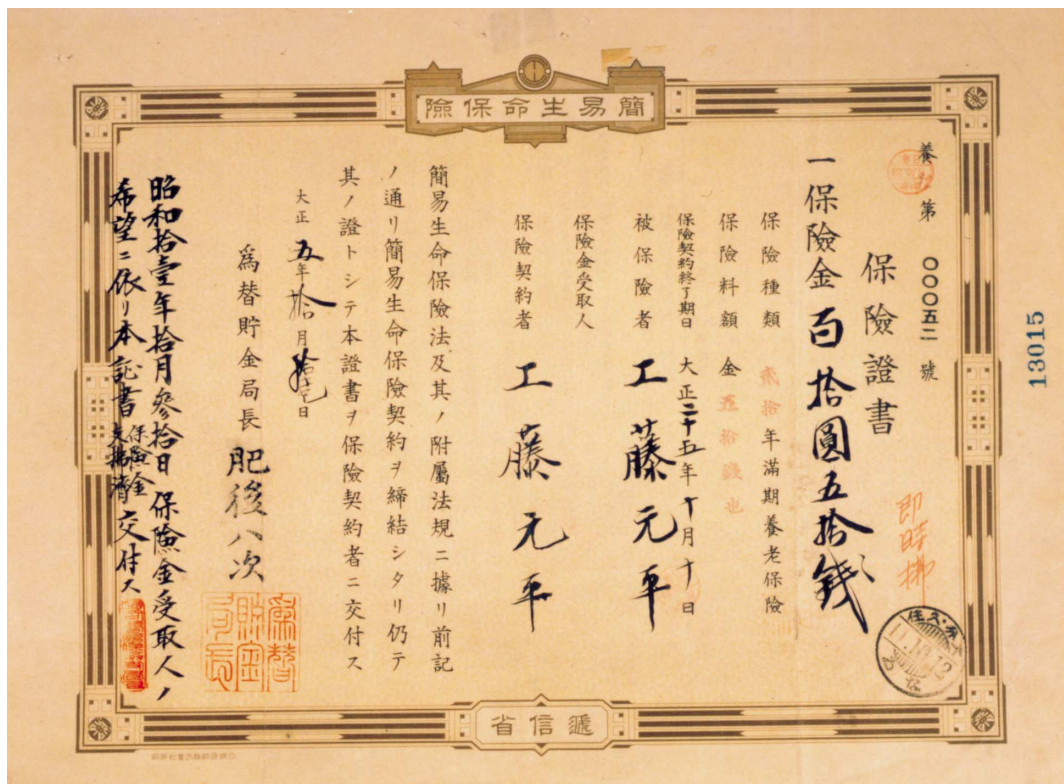


創業期の保険証書



簡易保険が創業となったのは、大正5年10月1日です。当初は、為替貯金局の保険部として業務を開始しましたが、予想以上のスピードで事業規模が拡大し、大正9年には簡易保険局が設置されました。

最初の保険は終身保険と養老保険の二種類で、養老保険は10年満期から5年刻みで40年満期までの7種がありました。

この写真は、大正5年10月に交付された創業当時の保険証書です。

(表紙解説)

東海道五拾三次之内 岡部 宇津之山

「伊勢物語」篇の細道を行く在原業平の歌に「駿河なる宇津之山辺のうつゝにもゆめにも人にはぬなりけり」とあるように、さみしげな宇津の谷峠の坂道が描かれている。

この場面は、逆川から古道入口を横に見て峠にかかるあたりの風景かと思われる。

(資料紹介・表紙解説 附属資料館 井上卓朗)